

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 52 号

第 52 週(12月22日～12月28日)

発行年月日:平成21年(2009年)1月8日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

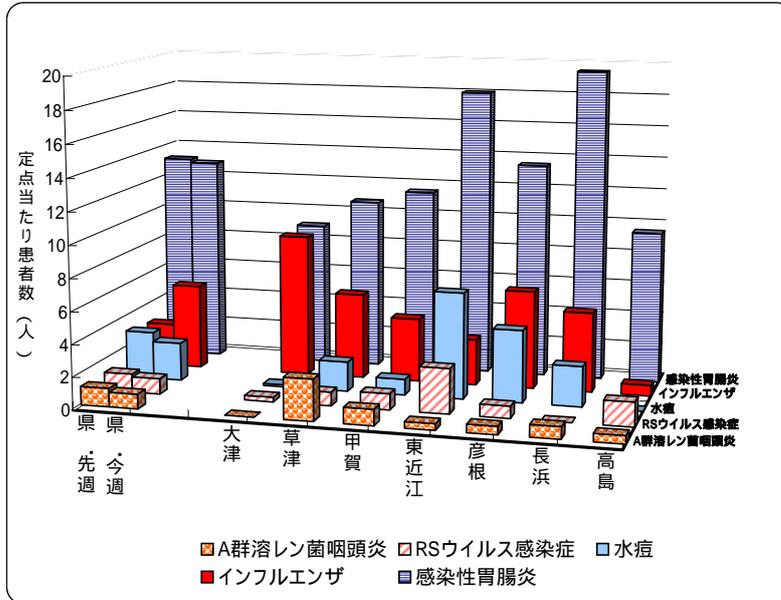
インフルエンザの発生は、増加傾向持続

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎等で、特にインフルエンザは先週の倍増となっています。また、減少した疾患はRSウイルス感染症、水痘、感染性胃腸炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱(プール熱)、感染性胃腸炎および水痘で警報発生基準値を、水痘で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

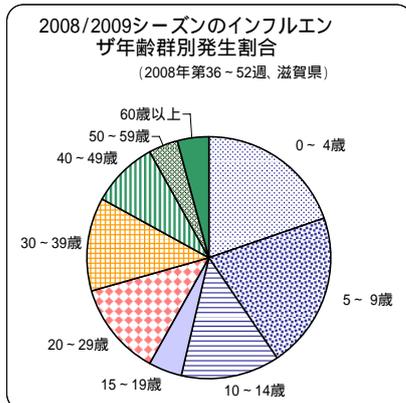
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、五類感染症の梅毒で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第52週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、RSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。感染性胃腸炎は東近江および長浜で、水痘は東近江および彦根で多くなっています。インフルエンザは各保健所管内ともに先週より増加しています。

インフルエンザの年齢群別発生状況(2008/09シーズン、2008年第36～52週、H20.8.31～H20.12.28)



年齢区分	累積報告数(人)	発生割合(%)
0～4歳	124	19.7
5～9歳	132	21.0
10～14歳	83	13.2
15～19歳	28	4.4
20～29歳	78	12.4
30～39歳	79	12.5
40～49歳	57	3.6
50～59歳	23	8.9
60歳以上	27	4.3
計	631	100.0

インフルエンザの2008/09シーズンにおける年齢群別発生割合および累積報告数は、左記グラフおよび表に示すとおりです。全国とほぼ同様の発生割合となっています。

また、滋賀県における昨シーズンの同時期と比較すると、0～4歳および5～9歳では減少していますが、50～59歳では5倍増、60歳以上では倍増となっています。今後も引き続きワクチン接種等の予防に対する十分な注意が必要です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (52週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (52週)	全国 (52週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	282	27,737	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	3	318	^(*) 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	53	4,307	55	4,586
	パラチフス	0	0	28	1	22
四類感染症	E型肝炎	0	0	43	1	54
	A型肝炎	0	3	170	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	104	1	89
	マラリア	0	1	57	1	52
	レジオネラ症	0	10	884	8	655
五類感染症	アメーバ赤痢	0	10	861	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	236	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	148	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	111	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,532	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	75	1	56
	梅毒	1	5	823	2	714
	破傷風	0	5	120	0	88
	急性脳炎	0	1	182	2	216
	風しん ^(*)	0	2	303	-	-
	麻しん ^(*)	0	39	11,005	-	-

*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第52週(12/22~12/28) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 17例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 11例
二類感染症: 結核 335例	デング熱 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3例
三類感染症: 細菌性赤痢 4例	マラリア 3例	ウイルス性肝炎 2例
腸管出血性大腸菌感染症 13例	レジオネラ症 10例	急性脳炎 2例
腸チフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 14例	風しん 1例
パラチフス 1例	ジアルジア症 1例	麻しん 12例
四類感染症: E型肝炎 1例	梅毒 6例	
	破傷風 1例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第47~52週、11/17~12/28)

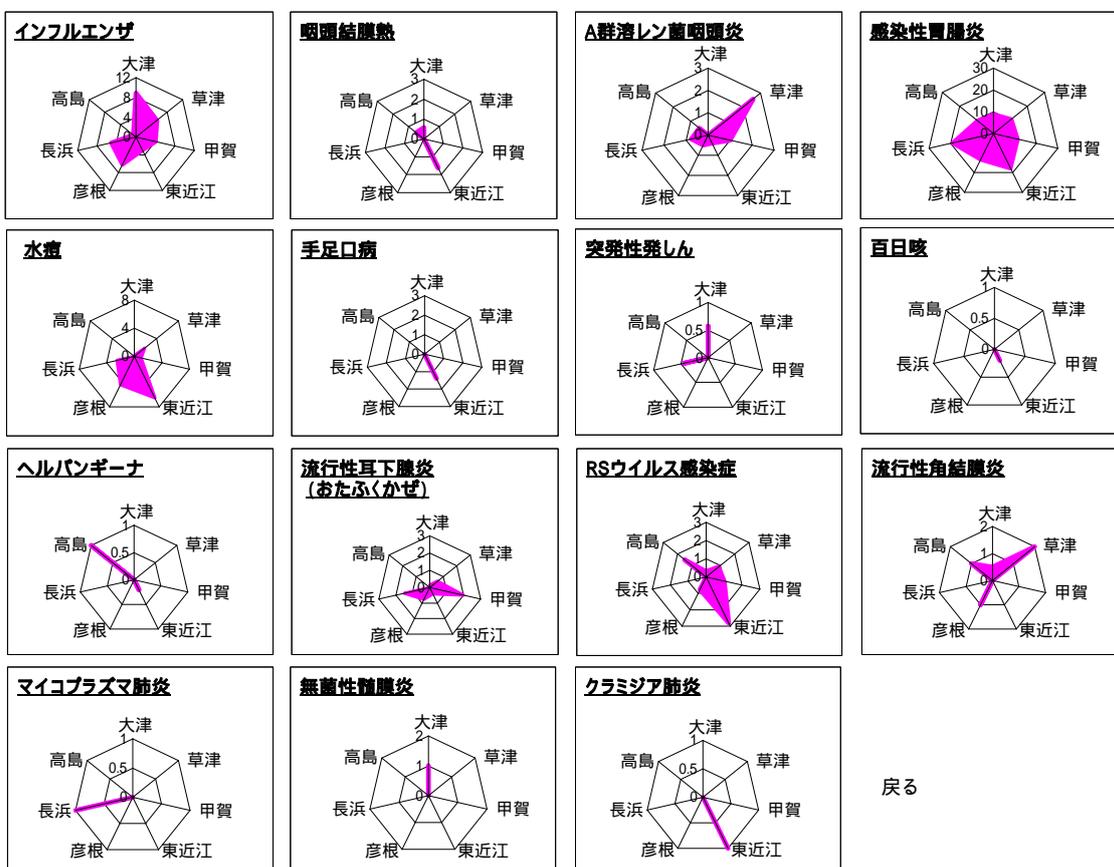
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	47週	48週	49週	50週	51週	52週	週				
	11/17~	11/24~	(12/1~)	(12/8~)	12/15~	12/22~	48	49	50	51	52
インフルエンザ	0.31	0.69	0.76	1.37	2.70	5.33					
RSウイルス感染症	0.85	0.58	0.88	1.09	1.15	0.97					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.21	0.24	0.33	0.27	0.15	0.39					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.30	1.15	1.12	1.15	1.15	0.91					
感染性胃腸炎	8.55	8.91	11.15	12.30	13.09	12.88					
水痘	0.91	1.79	1.97	2.45	2.97	2.39					
手足口病	0.76	0.33	0.36	0.27	0.24	0.21					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.06	0.03	0.06	0					
突発性発しん	0.36	0.24	0.48	0.27	0.58	0.18					
百日咳	0.03	0	0.03	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.06	0.33	0.03	0.09					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.09	0.97	0.67	0.82	0.73	0.73					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.75	0.38	0.38	0.25	0	0.63					
細菌性髄膜炎	0.14	0	0.14	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0.43	0	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.71	1.29	0.43	0.14	0	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.14					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第52週、12/22～12/28)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	5.33	8.91	5.36	4.00	2.88	6.14	5.00	0.67	
RSウイルス感染症	0.97	0.29	0.86	1.00	2.80	0.75	0	1.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.39	0.57	0	0	1.60	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0	2.57	1.00	0.40	0.50	0.75	0.50	
感染性胃腸炎	12.88	9.00	10.71	11.50	18.00	13.50	19.50	9.50	
水痘	2.39	0.14	1.86	1.00	6.60	4.50	2.50	0	
手足口病	0.21	0	0	0	1.40	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.18	0.57	0	0	0	0	0.50	0	
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0	0.20	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.73	0.14	0.57	2.00	0.40	0.75	1.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.63	0.50	2.00	0	0	1.00	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中 0 3 6 9 12 15
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



戻る

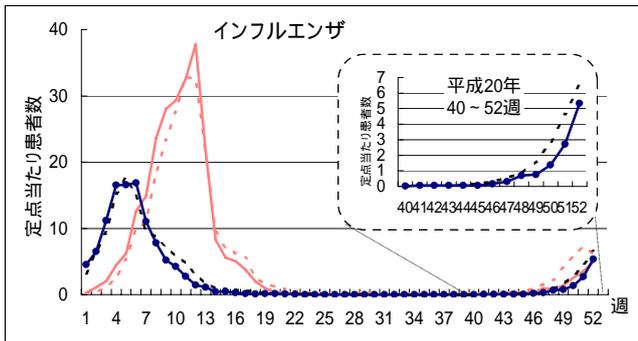
今週の発生状況： 感染性胃腸炎は甲賀で警報終息基準値以下(12.00)となりました。水痘は長浜で注意報発生基準値以下(4.00)となりました。また、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は甲賀で注意報発生基準値以下(3.00)となりました。

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成20年第52週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱) 定点当たり患者数(人)	0.39	0.57	0	0	1.60	0	0	0.50	2.00	0.10	-
感染性胃腸炎 定点当たり患者数(人)	12.88	9.00	10.71	11.50	18.00	13.50	19.50	9.50	20.00	12.00	-
水痘 定点当たり患者数(人)	2.39	0.14	1.86	1.00	6.60	4.50	2.50	0	7.00	4.00	4.00

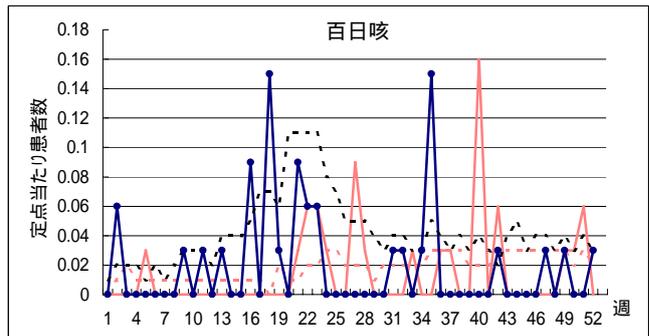
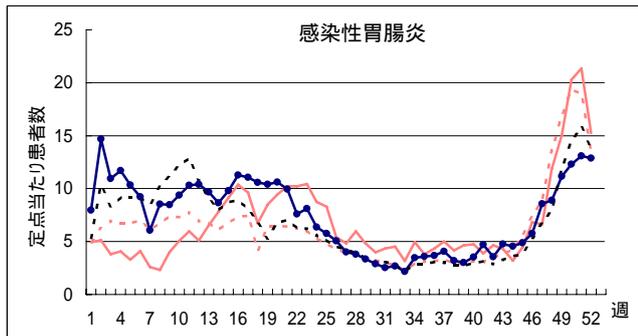
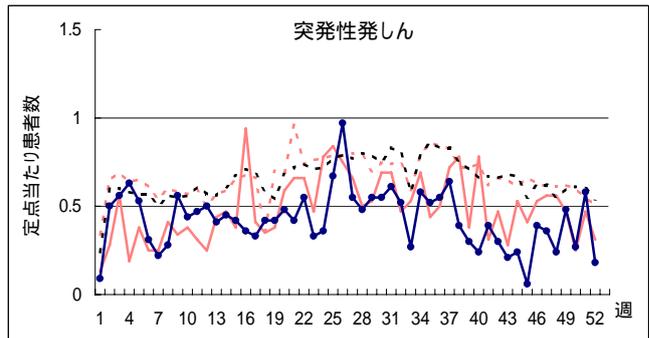
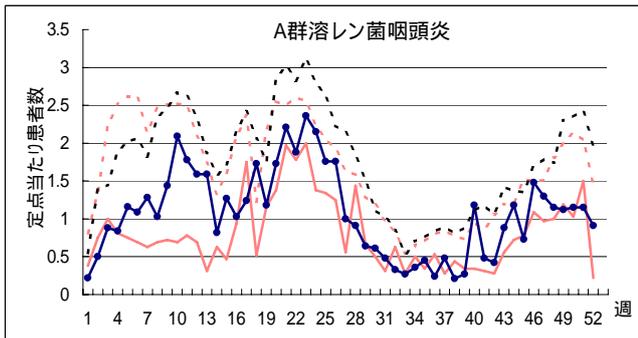
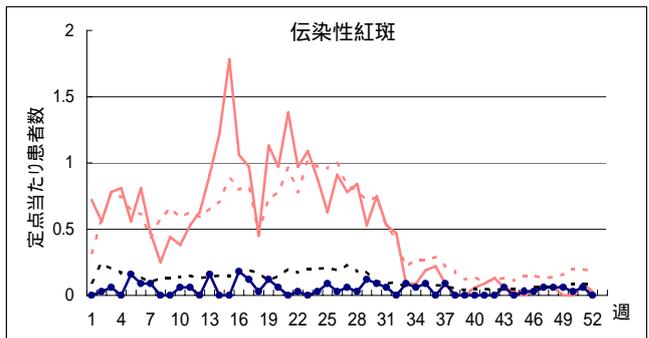
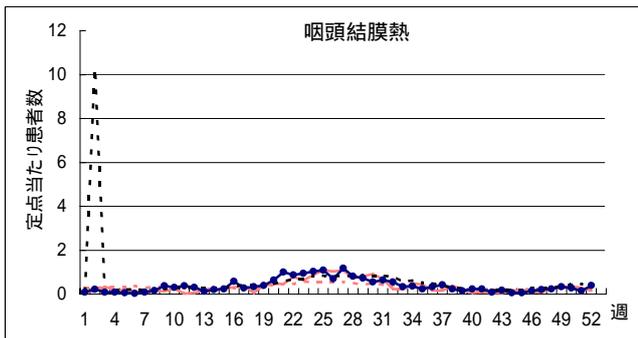
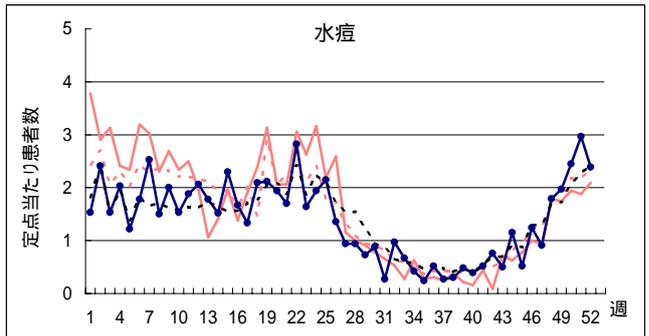
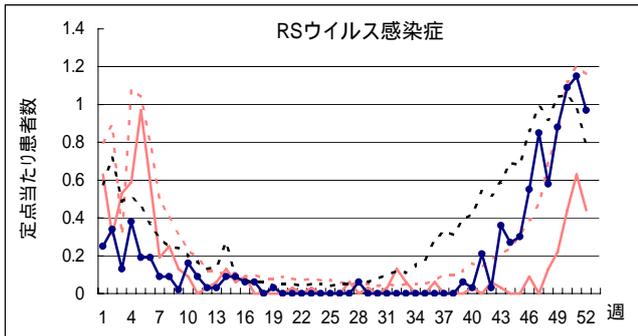
★ 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ★ 注意報発生基準値を超えています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第52週、H19.12.31～H20.12.28)

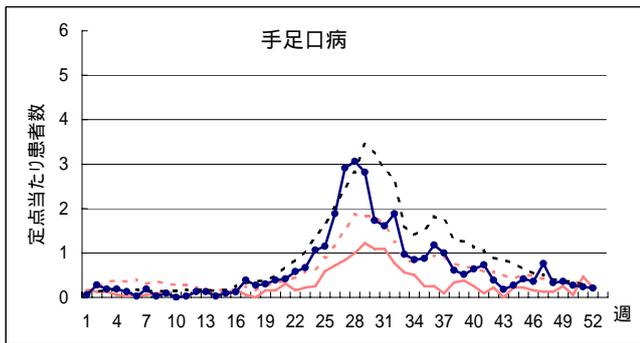


H19 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第52週、H19.12.31～H20.12.28)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●●●●●●
 全国

